



第 46 回 東名高速道路におけるタイヤ点検アンケート調査の結果報告

一般社団法人日本自動車タイヤ協会(会長 野地彦旬)では、関係各位のご協力を得て、去る 11 月 12 日、東名高速道路・浜名湖サービスエリアに駐車中の自動車タイヤの点検並びにそのドライバーを対象としたアンケート調査を行いましたので、その結果をここに発表致します。

このタイヤ点検は、タイヤ整備不良に起因する自動車事故の未然防止を図ることを目的に、東名高速道路が全線開通した当初より実施しているものであり、今年で 46 回目となります。

当会が実施しているこの他のタイヤ点検の結果からもタイヤの日常点検・整備等が適正に行われていないことが窺えるため、今後も本点検をはじめとする様々な啓発活動の中でタイヤ適正使用・管理の重要性を訴求して参ります。



● タイヤ点検・アンケート調査の対象車種及び目的

項 目	対象車種	目 的
タイヤ点検	乗用車 大型バス トラック	タイヤ整備不良に起因する自動車事故の未然防止を図る。
アンケート調査	乗用車	タイヤ使用に関するドライバーの意識を調査し、正しい使用・管理方法を PR する。

● 後 援

経済産業省

国土交通省

一般社団法人 日本自動車工業会

● 協 力

中部運輸局

関東管区警察局 川崎高速道路管理室

静岡県警察本部 交通部 高速道路交通警察隊

中日本高速道路株式会社 東京支社

一般社団法人 日本自動車連盟 中部本部

一般社団法人 静岡県トラック協会

静岡県高速道路交通安全協議会

1. タイヤ点検結果の概要

今回、タイヤ点検を行った車両は乗用車 120 台、大型バス 39 台及びトラック 41 台の合計 200 台ですが、これら車両のタイヤ整備の概要は次の通りです。

1-1 タイヤ整備の「車種別」状況について

タイヤ点検を行った車両 200 台のタイヤ整備状況は表-1 の通りです。

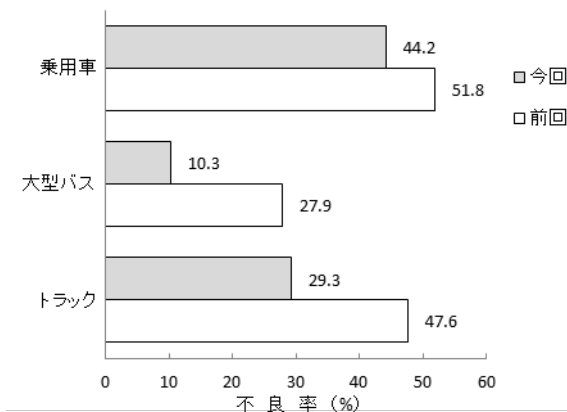
表-1 タイヤ整備の「車種別」状況

車 種	点検車両	タイヤ整備不良車両	不 良 率	増 減		前回不良率
乗 用 車	120台	53台	44.2%	-7.6		51.8%
大型バス	39台	4台	10.3%	-17.6		27.9%
トラック	41台	12台	29.3%	-18.3		47.6%
計	200台	—	—	—		—

タイヤの整備状況を車種別にみると、不良率が一番高かったのは乗用車で 44.2%(前回対比 7.6 ポイント減少)、次いでトラック 29.3%(前回対比 18.3 ポイント減少)の順となっており、大型バスは 10.3%(前回対比 17.6 ポイント減少)でした。

(図-1 参照)

図-1 車種別・タイヤ整備不良率の比較



1-2 タイヤ整備不良の「車種別・項目別」内訳

タイヤの整備不良車両の「車種別・項目別」内訳は表-2 の通りです。

乗用車用のタイヤの整備不良を項目別に見ると、不良率 1 位は空気圧不足で 40.8%(前回対比 6.5 ポイント減少)となっています。

表-2 タイヤ整備不良の「車種別・項目別」内訳

不良項目	乗用車		大型バス		トラック	
タイヤ溝不足	0件	0.0%	1件	2.6%	7件	17.1%
偏摩耗	0件	0.0%	3件	7.7%	5件	12.2%
外傷	2件	1.7%	0件	0.0%	1件	2.4%
釘・異物踏み	0件	0.0%	0件	0.0%	0件	0.0%
空気圧不足	49件	40.8%	—	—	—	—
その他	3件	2.5%	0件	0.0%	1件	2.4%
計	54件	—	4件	—	14件	—

備考)①乗用車の空気圧点検は実測(ホット状態)。

表-3 第46回 東名高速道路におけるタイヤ点検結果

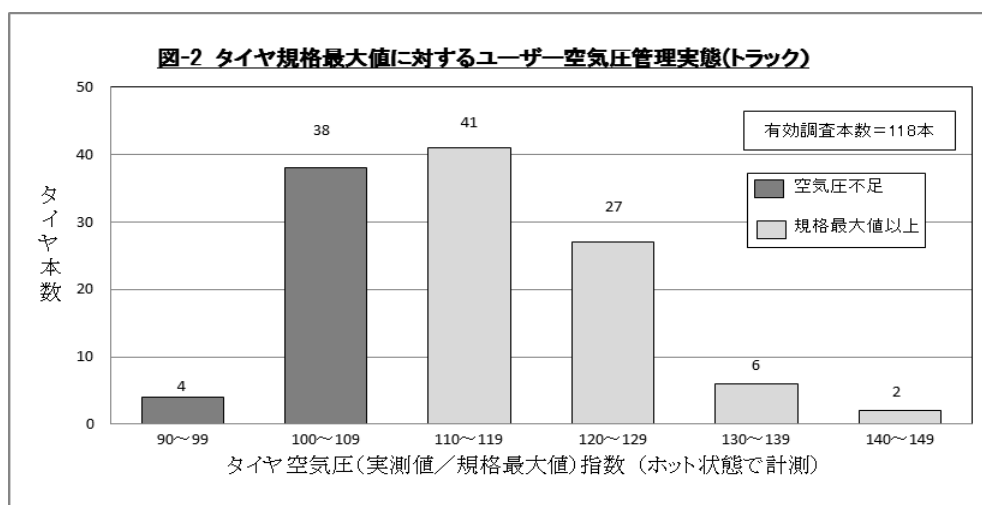
		前回(参考) 第45回(2013.11.6)			今回 第46回(2014.11.12)		
		乗用車	大型バス	トラック	乗用車	大型バス	トラック
A. 点検車両(台)		110	43	42	120	39	41
B. タイヤ整備不良車両(台)		57	12	20	53	4	12
B/A 不良率(%)		51.8	27.9	47.6	44.2	10.3	29.3
タイヤ整備不良の内訳(件数)	タイヤ満足	0	5 (11.6)	12 (28.6)	0	1 (2.6)	7 (17.1)
	偏摩耗	0	7 (16.3)	6 (14.3)	0	3 (7.7)	5 (12.2)
	外傷 (コードに達するもの)	0	0	3 (7.1)	2 (1.7)	0	1 (2.4)
	釘・異物踏み	3 (2.7)	0	0	0	0	0
	空気圧不足	52 (47.3)	—	—	49 (40.8)	—	—
	その他	5 (4.5)	0	2 (4.8)	3 (2.5)	0	1 (2.4)
	計	60	12	23	54	4	14

備考) ① 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。
 ② 不良率:「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100
 なお、「タイヤ整備不良の内訳(件数)」の()は不良率を示す。
 ③ 乗用車の空気圧は実測(ホット状態)。

1-3 専門チームによるトラック(積載 4t以上)の空気圧実測結果について

結果は、図-2 の通りです。

- 1) トラック(積載 4t 以上)の空気圧点検を実施したところ、59 台中 2 台に装着されたタイヤで空気圧不足の状態がありました。
- 2) 不良率は 3.4%と前回(点検台数 64 台、空気圧不足車両 11 台、不良率 17.2%)に比べ 13.8 ポイント減少しています。



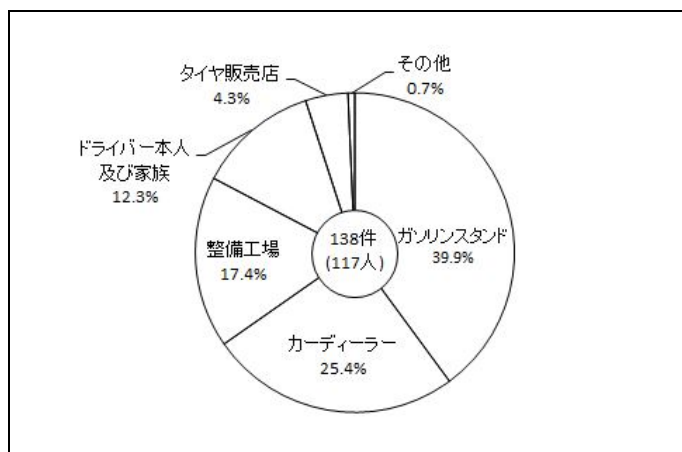
2. アンケート調査結果の概要

今回は、乗用車のドライバーにアンケートし、117 人に回答を戴きました。それぞれの質問に対する回答は次の通りです。(グラフの中心に表示している数字は当該質問の有効回答者数です。)



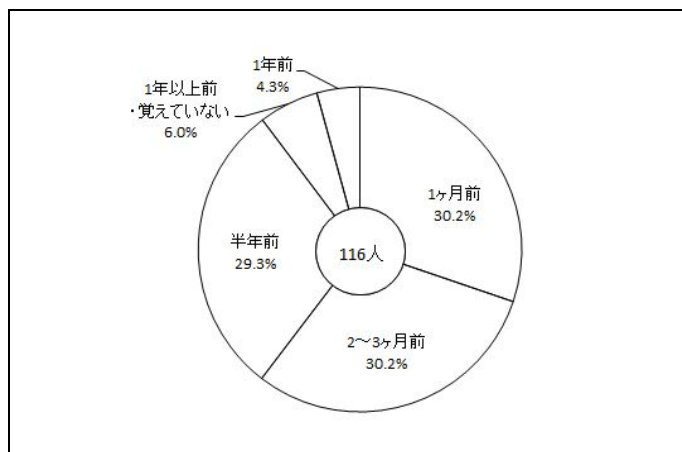
《乗用車》

Q1 エアゲージを使用したタイヤの空気圧点検は主に誰が行っていますか？(複数回答)



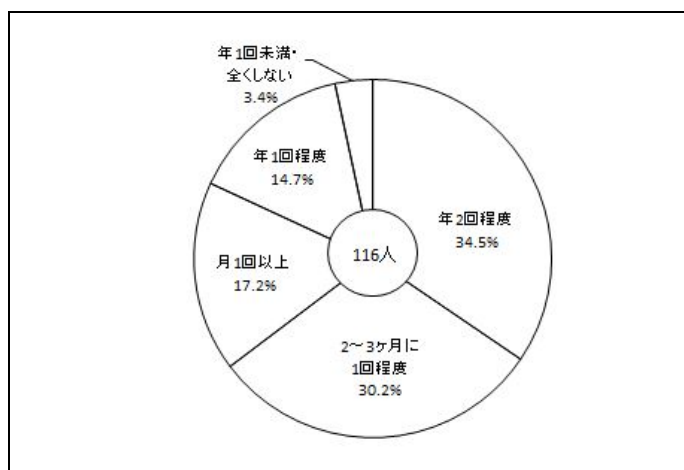
誰が空気圧点検を行っているかについては、「ガソリンスタンド」が 55 人(39.9%)で最も多く、次いで「カーディーラー」が 35 人(25.4%)、「整備工場」が 24 人(17.4%)、「ドライバー本人及び家族」が 17 人(12.3%)、「タイヤ販売店」が 6 人(4.3%)となりました。

Q2 それは、前回いつ頃行いましたか？



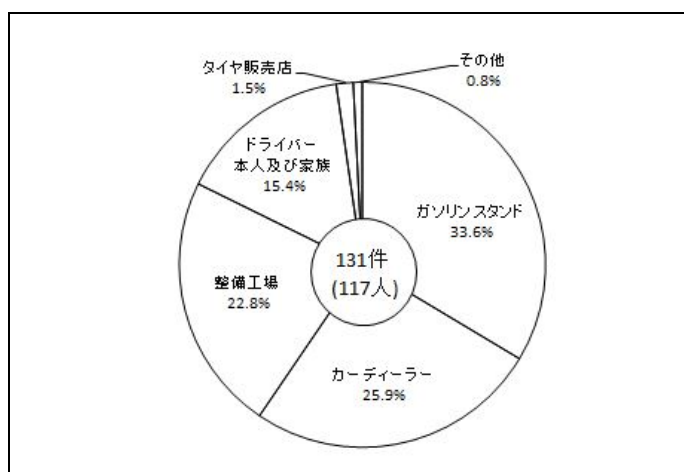
前回いつ頃空気圧点検を行ったかについては、「1ヶ月前」と「2～3カ月に1回程度」と回答したドライバーが 35 人(30.2%)となりました。次いで「半年前」との回答が 34 人(29.3%)となりました。

Q3 その頻度は、どれくらいですか？



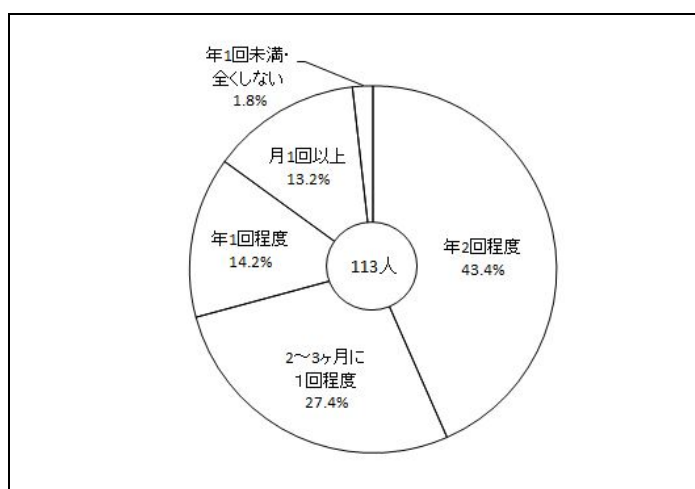
空気圧点検頻度については、「年2回程度」との回答が最も多く40人(34.5%)、次いで「2〜3ヶ月に1回程度」35人(30.2%)、「月1回以上」20人(17.2%)、「年1回程度」17人(14.7%)、「年1回未満・全くしない」4人(3.4%)となりました。

Q4 空気圧以外のタイヤ点検は主に誰が行っていますか？(複数回答)



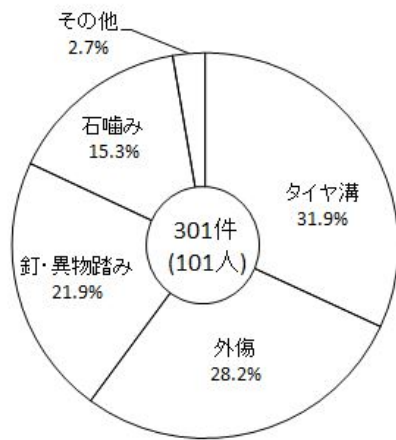
空気圧以外のタイヤ点検を誰が行っているかについては、「ガソリンスタンド」44人(33.6%)と最も多く、次いで「カーディーラー」34人(25.9%)、「整備工場」30人(22.8%)となりました。

Q5 その頻度はどれくらいですか？



空気圧以外のタイヤ点検の頻度については、「年2回程度」が最も多く49人(43.4%)、次いで「2〜3ヶ月に1回程度」31人(27.4%)、「年1回程度」16人(14.2%)、「月1回以上」15人(13.2%)、「年1回未満・全くしない」2人(1.8%)となりました。

Q6 何を点検しましたか？(複数回答)



空気圧以外のタイヤ点検で何を点検したかについては、「タイヤ溝」96人（31.9%）と回答したドライバーが最も多く、次いで「外傷」85人（28.2%）、「釘・異物踏み」66人（21.9%）となりました。

本件に関するお問い合わせ

一般社団法人日本自動車タイヤ協会 技術部 柴田

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-8-21 虎ノ門 33 森ビル 8 階

TEL:03-3435-9092